

## 1 平取ダム建設事業の目的及び内容

平取ダム建設事業は、沙流川水系額平川の北海道沙流郡平取町にダムを建設し、洪水調節、流水の正常な機能の維持及び水道用水の供給を行うものである。

平取ダム建設事業の目的及び内容は、以下に示すとおりである。

### 1-1 事業の目的

#### (1) 洪水調節

平取ダム地点の計画高水流量  $2,050\text{m}^3/\text{s}$  のうち  $1,750\text{m}^3/\text{s}$  の洪水調節を行い、沙流川流域の洪水を低減するものである。

#### (2) 流水の正常な機能の維持

ダム地点下流、沙流川沿川の既得用水の補給及び動植物の保護・漁業等、流水の正常な機能の維持を図る。

#### (3) 水道用水

平取町、日高町の水道用水として、二風谷ダムとの相互運用により最大  $2,600\text{m}^3/\text{日}$  の取水を可能とするものである。

### 1-2 事業の内容

#### (1) 事業の種類

国土交通省北海道開発局が行うダム新設事業

#### (2) 事業実施区域の位置

事業実施区域の位置は、沙流川水系額平川の北海道沙流郡平取町内で、図 1-1 に示すとおりである。

#### (3) 事業の規模及び総貯留容量

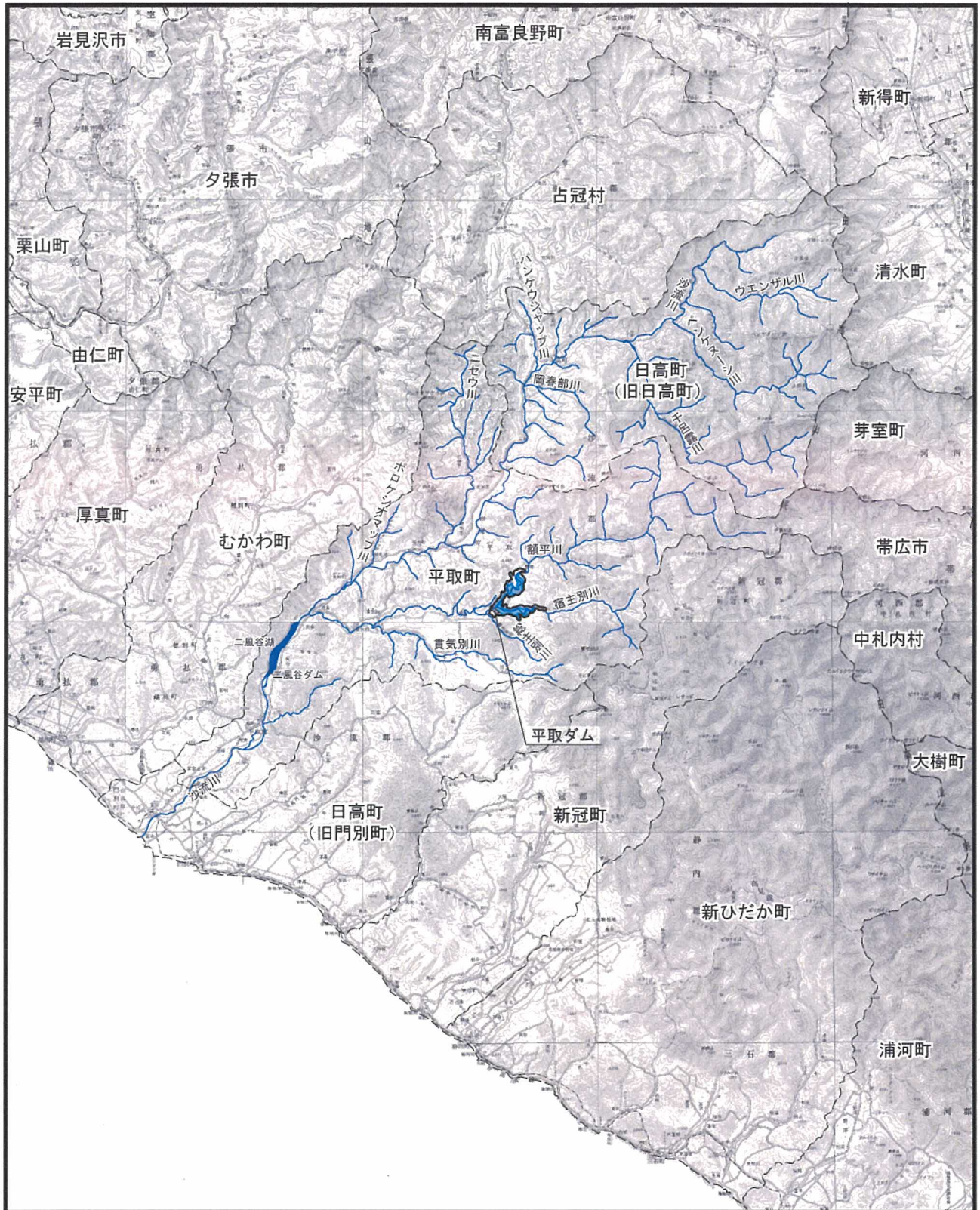
貯水面積:  $3.1\text{km}^2$  (サーチャージ水位における貯水池の区域の面積)

1.  $3\text{km}^2$  (常時満水位における貯水池の区域の面積)





0.  $3\text{km}^2$  (制限水位における貯水池の区域の面積)

総貯水容量:  $45,800,000\text{m}^3$

有効貯水容量:  $44,500,000\text{m}^3$



凡 例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  対象事業実施区域
-  市町村界

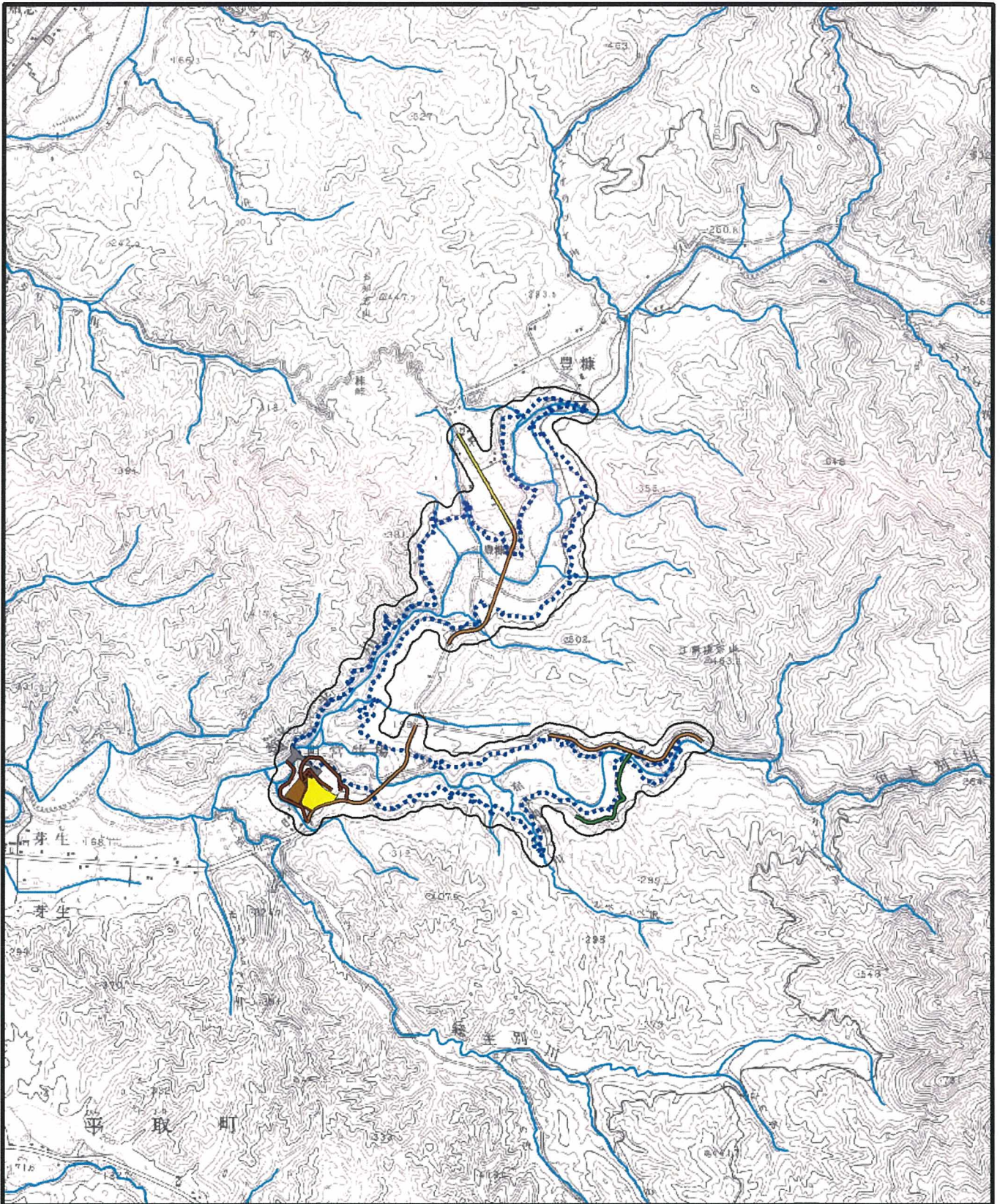


Scale 1:500,000










0 5 10 20km

図1-1(1)  
対象事業位置

注) 平成18年3月に、市町村合併により、旧日高町と旧門別町が日高町へ、旧鶴川町と旧穂別町がむかわ町へ、旧静内町と旧三石町が新ひだか町へ変更した。



凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  対象事業実施区域
-  付替道路
-  付替林道
-  拡幅道路
-  工事用道路
-  仮施設
-  建設発生土処理場



Scale = 1:50,000

0 0.5 1 2 km

図 1-1 (2)

対象ダム事業実施区域

(4) ダム容量配分

平取ダムの容量配分は、図 1-2 に示すとおりである。

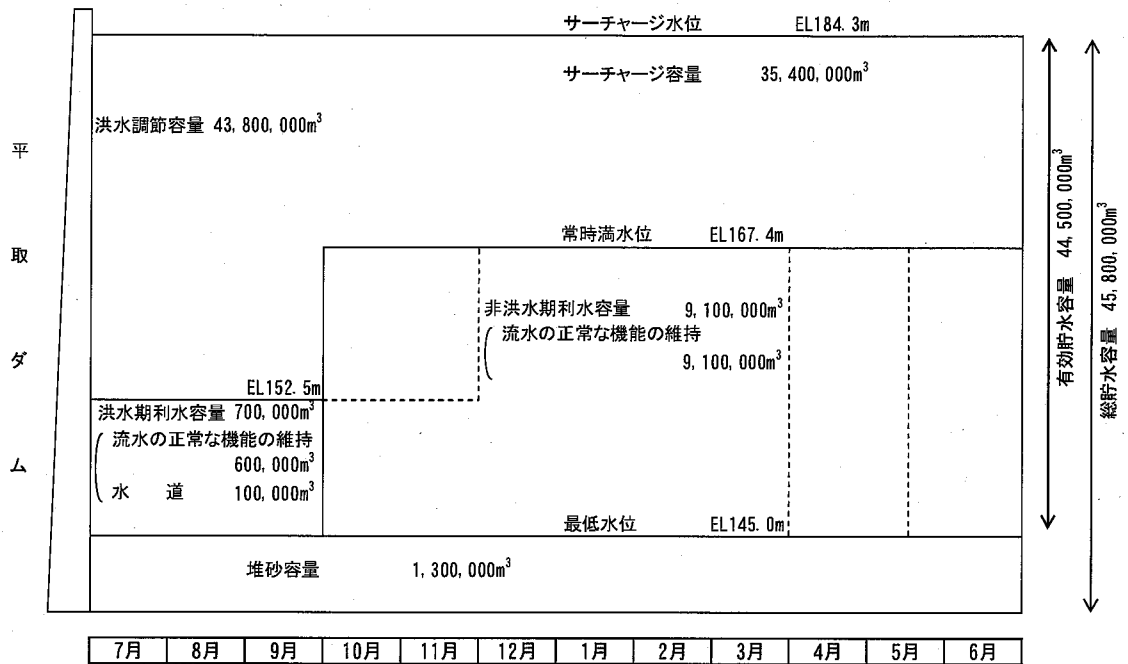


図 1-2 平取ダムの容量配分

(5) 事業の規模及び形式

1) ダムの堤体の規模

平取ダムの堤体の規模に関する事項は、以下に示すとおりであり、また、ダム堤体平面図は図 1-3 に、ダム下流面図は図 1-4 に、ダム堤体標準断面図は図 1-5 に示すとおりである。

- 集水面積 : 234.0km<sup>2</sup>
- 堤高 : 55m
- 堤頂長 : 600m
- サーチャージ水位 : EL. 184.3m
- 常時満水位 : EL. 167.4m
- 制限水位 : EL. 152.5m
- 最低水位 : EL. 145.0m

2) ダムの堤体の形式

形 式 : 重力式コンクリートダム

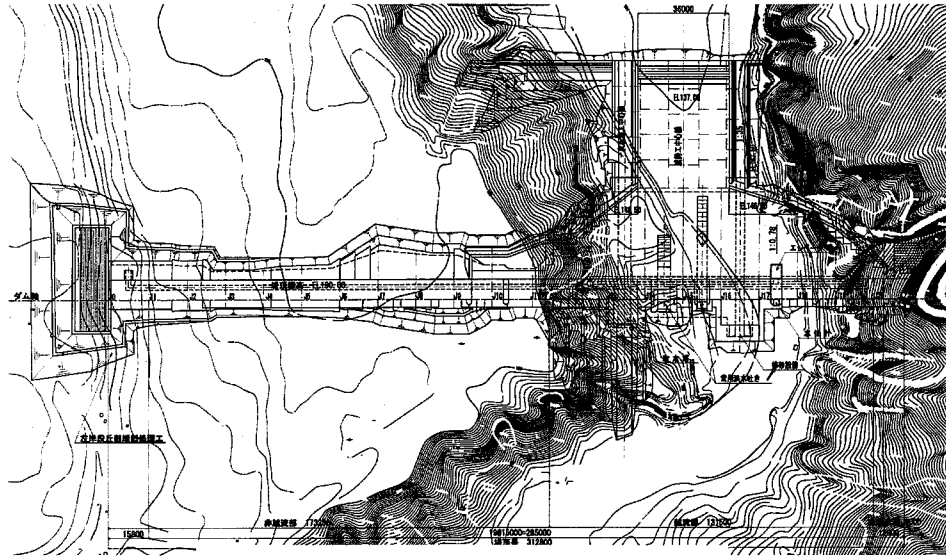


図 1-3 ダム堤体平面図

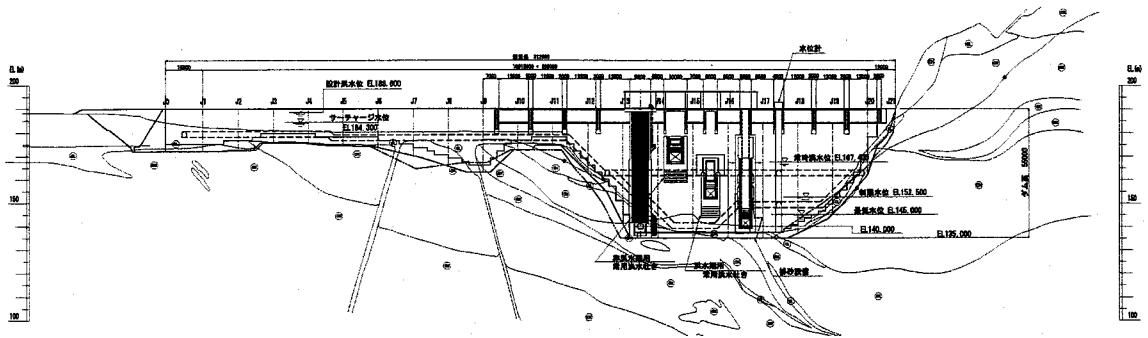


図 1-4 ダム堤体上流面図

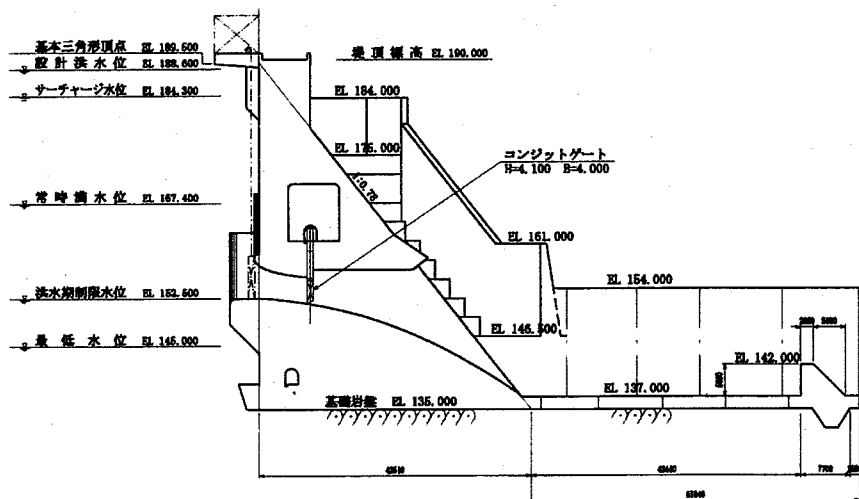


図 1-5 ダム堤体標準断面図